

いのちの授業【家庭科】学習指導案

指導者 T

1. 本時の指導

(1) 題材 納豆汁の知恵を探る

(2) 目標

最上の郷土料理である納豆汁の栄養的価値を検証することから先人の知恵に触れ、手に入る素材で食生活を豊かにしていた先人達の「食べる営み」への思いを感じ、地域の食文化の価値を再認識する。 (家庭科)

保存の技術を駆使して身の回りの食材を大切に食べ尽くしてきた先人達の歩みから、自分を取り巻く全てのものへの畏敬と感謝の念を実感する。 (いのちの授業)

(3) 指導過程

	学習活動	おもな発問(○)と指示()	指導上の留意点(・)と評価()
導入	納豆汁にはどんな知恵がかくされているかを推測する。	○ 家庭で納豆汁を食べますか？納豆汁は好きですか？ ○ 納豆汁は山形や最上の郷土料理といわれていますが、どんなことを知っていますか？ 今日は納豆汁について学習します。	納豆汁(里芋・豆腐・芋がら・油揚げ・なめこ・ねぎ・わらび) ワークシート
展開	納豆汁を試食して、どんなものが入っているか確かめる。 班の中で手分けして調べること、納豆汁の栄養的価値と食文化としての価値について理解する。	納豆汁を食べて見ましょう。 ○ 何が入っているでしょう。 ○ それにはどんな栄養があるでしょう。 ○ 保存方法や食べ方にはどんな知恵がかくされているでしょう ・ 納豆の蛋白価(肉と圍じ) ・ 鉄分 ・ 保存方法 ・ 食物繊維	おわん・はし・おたま・カセットコンロ・嫌いだという生徒に強制はしないが、入っているものの観察はするようにいう。 ・ ハンドブックの栄養成分表(+α) ・ 教科書 加工食品のページ
まとめ	学習したことをもとに、 <u>納豆汁のよさ</u> を自分の言葉でまとめる。	学習したことをもとに、納豆汁のよさを自分の言葉でまとめてみましょう。	栄養と食文化の両面から価値を見出しているか。
いのちの授業のまとめ	先人達の食の営みについて話を聴く。	食文化としての価値。 手に入る素材で食生活を豊かにしてきた「食べる営み」へのおもい。 山の恵を大切に保存し、食べ尽くしてきた「いただく」精神。 自分を取り巻く全てのものへの感謝・畏敬の念があるからこそ「いただきます」周りのおかげで今ある自分。 自分という存在の価値 授業を終えての感想を書きましょう。	・ 生徒の現在の食生活の問題点(貧弱な朝食・残食の多さ・口当たりのよいやわらかい・あまいものばかりを好む食べ方)なども引き合いに出し、自分の食生活に関しても思いを膨らませる。 ・ 余韻をもって授業を終了する。

(4) 評価

最上の郷土料理である納豆汁の栄養的価値を検証することから先人の知恵に触れ、手に入る素材で食生活を豊かにしていた先人達の「食べる営み」への思いを感じ、地域の食文化の価値を再認識できたか。

保存の技術を駆使して身の回りの食材を大切に食べ尽くしてきた先人達の歩みから、自分を取り巻く全てのものへの畏敬と感謝の念を感じ取れたか。